

スマートハイムシリーズフラッグシップモデル

SmartPowerStation 100% Edition 採用

スマートパワーステーション



タッチパネル式
専用カラーリモコン



5.9 kW 太陽光発電兼用
パワーコンディショナ



12.0 kWh ※1
フィルム型リチウムイオン
蓄電ユニット

太陽光発電連係型リチウムイオン蓄電システム
大容量マルチDCリンクタイプ

型式: **EGS-ML1200**
オープン価格



多数台連系対応

SII補助金
対象機器※2



業界最小サイズ※3、屋内設置スペース従来比約1/2※4を実現

大容量12kWh ※1,5 リチウムイオン蓄電システム

積水化学工業製「フィルム型リチウムイオン蓄電池」採用
大判フィルム型で軽量かつ大容量、耐久性アップ※5

太陽光発電+蓄電システム同時設置に最適な
ハイブリッド型パワーコンディショナ搭載で
高効率96%※1の充電

V2H※6との併用も可能
太陽光発電システムの電力を、大容量に蓄電可能

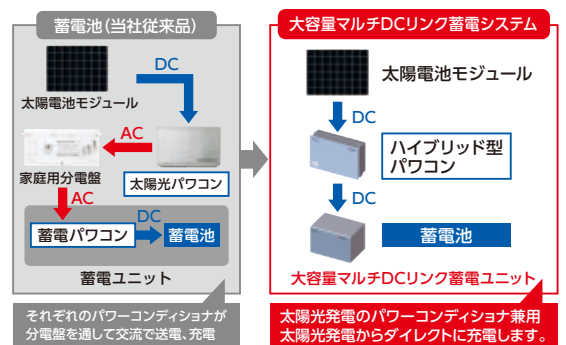
非常時も3kVA(100V/200V)の大容量出力が可能
停電時も、より多くの電化製品を利用可能です※7

※1: 実際に使用できる容量は、放電深度90%と蓄電ユニットから出力される際の電力変換効率94%をかけた値となり、初期値での最大使用可能容量の目安は約10.1kWhとなります。周辺温度やお客様宅での消費電力量により電力変換率が下がる場合があります。太陽光発電からの電力変換効率が96%となります。※2: (一般社団法人)環境共創イニシアチブ「平成27年度補正予算住宅省エネリノベーション促進事業費補助金」登録機器。※3: 実効容量10kWh以上の単一ユニットで構成される太陽光発電連係型リチウムイオン蓄電池において(2016年11月末日時点、京セラ調べ)。※4: セキスハイム採用の7.2kWh屋内型蓄電池と比較し、スペースを7.2kWh蓄電池から12kWhへ換算した場合。※5: 7.2kWh屋内型蓄電池比。※6: 接続可能な機種はセキスハイム独自仕様品となります。※7: 自立運転時は生命身体に関わる機器は絶対に接続しないで下さい。太陽光発電で6kW以上出力可能な場合、電気の使い過ぎや家電製品の特性により、定格を超える電流が流れると、安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、コンセントへの給電を停止します。●画面はめ込み合成(イメージ)です。●蓄電池で貯めた電気を売電することはできません。●「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。●本システムの法定耐用年数は6年です。

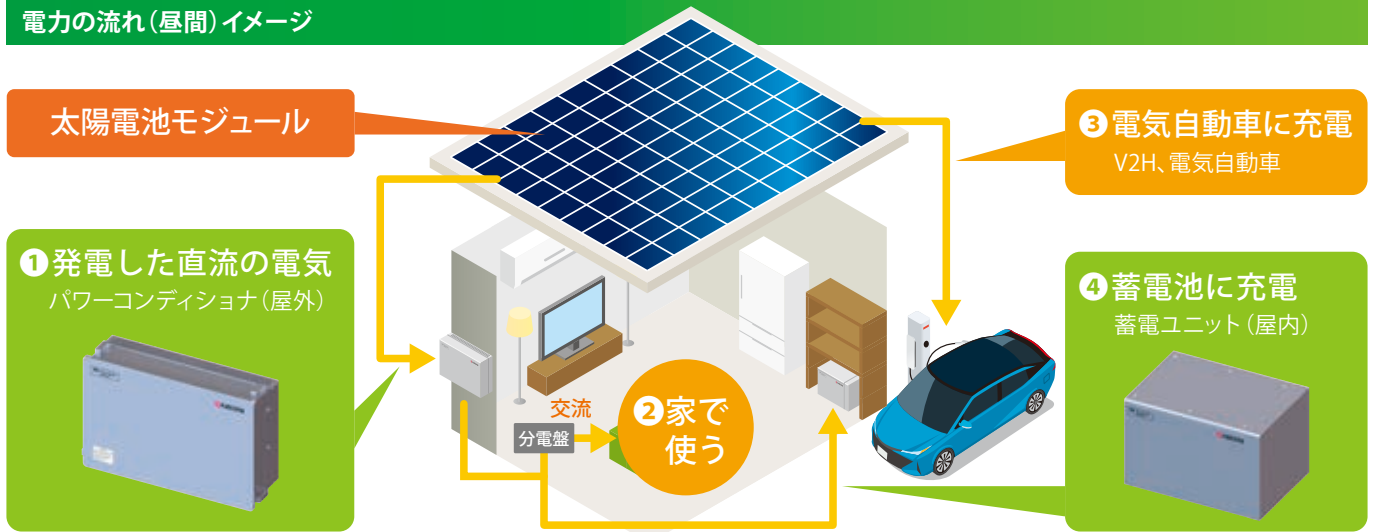


フィルム型リチウムイオン蓄電池

太陽光の発電電力をダイレクトに蓄電



電力の流れ(昼間)イメージ



※天候等によって電力の流れは異なります。本製品に太陽電池モジュール、V2H、電気自動車は含まれません。自立運転時、生命身体に関わる機器は絶対に接続しないでください。

設定可能な運転モード

平常時

経済モード

グリーンモード

自立時

待機モード

自動モード

経済モード

充電:電気料金が割安な深夜時間帯
放電:昼間の電気料金が割高な時間帯
放電の時間帯には、太陽光発電の売電中は放電を行わず、買電中のみ放電します。(太陽光発電システムがない場合も推奨)

グリーンモード

充電:電気料金が割安な深夜時間帯
放電:昼間の電気料金が割高な時間帯
太陽光により発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。蓄電池残量が100%の時は、余剰電力を売電します。

待機モード

家庭用負荷への電力供給は行いません。
太陽光発電中は蓄電池へ充電します。

自動モード

蓄電池と太陽光発電から家庭用負荷への電力給電を行います。太陽光発電中は太陽光の電力を優先して使用し、余剰電力は蓄電池へ充電します。

リチウムイオン蓄電システム(パワーコンディショナ+蓄電ユニット)

品名	太陽光発電連係型リチウムイオン蓄電システム
タイプ	大容量マルチDCリンクタイプ
型式	EGS-ML1200
希望小売価格	オープン価格

蓄電ユニット【型式:LBN-1200】

蓄電池	フィルム型リチウムイオン蓄電池
セル仕様	LFPO(リン酸鉄)
蓄電容量 ^{※2}	12kWh
入力電圧	DC179.2V
電流容量	70Ah
充電時間	4.5時間
設置場所	屋内
外形寸法(mm)	W760×H495×D525(突起物含まず)
質量	190kg

※1:運転時、A特性、装置正面1mにて(参考目安:図書館の中40dB、ささやき声30dB(環境省ホームページより))※2:実際に使用できる容量は約10.1kWhとなります。●本体に付属してリモコンケーブル12・マルチセット(20m)が含まれます。
●太陽光パワーコンディショナとの接続は、本製品分のみ、最大3台までです。太陽光発電システムの最大定格容量は18kWまでです。●太陽光発電システムで全量買取制度を利用されている場合や一般家庭でのご使用(負荷)がない場合は、メンテナンスモードが正常に終了できませんので、設置いただけません。10kW以上設置される場合は余剰買取をご選択ください。

パワーコンディショナ【型式:HBS-590】

連系定格出力	5.9kW	
自立出力	3.0kVA	
定格入力電圧	DC250V	
太陽光発電入力回路数	4回路	
太陽光発電入力運転電圧範囲	DC50~370V	
太陽光発電最大入力電流、電力	1回路あたりDC10A、1.8kW	
電力変換効率	太陽光発電交流出力	94.5%(定格負荷時)
	蓄電池放電交流出力	94%(定格負荷時)
	太陽光発電充電時	96%
設置場所	屋外(IP55相当)	
外形寸法(mm)	W880×H580×D269(突起物含まず)	
質量	55kg	
運転時騒音 ^{※1}	40dB以下	
設置環境	周辺温度-20~40℃(重塩害地域を除く)	
通信機能	RS485、ECHONET-Lite	

*遠隔出力制御対応について

出力制御対応には、遠隔制御用機器としてHEMS(エコナビットIV)が必要です。また、機器のインターネットへの接続が必要となります。対象のHEMSは、自動的にソフトウェアのアップデートを行います。(東京電力、中部電力、関西電力をのぞく。2016年4月1日現在)出力制御は、電力会社の要請により実施されますので、詳細については電力会社にご確認ください。



安全に関するご注意

ご使用の前に(すぐにご使用を始めない場合でも設置工事後すみやかに)、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定されます。

●取付工事・修理・移設・再設置・破壊はお買い上げの販売会社にご依頼ください。●カバーを開けないでください。感電、けがの恐れや故障の原因になります。●発煙、異臭、高温などの異常を感じた場合は、本製品を接続しているブレーカを「OFF」にし、お買い上げの販売会社まで連絡してください。そのまま使用すると火災の原因となります。●可燃性ガスや引火物を近く(60cm以内)に置いたり、近くで使用したりしないでください。電気製品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。●自立運転出力用コンセントや停電時の特定コンセントには、生命に関わる機器や途中で電源が切れると困る電気製品は絶対に接続しないでください。自立運転の際、供給される電力は不安定です。



注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されます。

●ぬれた手でふれたり、ぬれた物でふかないでください。感電の原因となることがあります。●自立運転機能や非常時設定では、負荷によって使用できないものがあります。また、自立運転機能では、太陽光発電とあわせてご利用の場合、日射量によっては途中で電源が切れる場合があります。

●掲載写真は、一部イラストが含まれます。また、印刷インキ・撮影状況により、実際の色とは異なって見えることがあります。●製品設定、仕様等は、予告なく変更する場合があります。●一部品切れになる場合もありますので、販売窓口にお確かめの上、お選びください。●日本国内仕様のため、日本国外では使用できません。●「セキスイハイム」スマートパワーステーションは積水化学工業株式会社の登録商標です。●お客様の保証条件は、販売窓口へお問い合わせください。

セキスイハイム

KYOCERA

京セラ株式会社 ソーラーエネルギー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 〒612-8501
Tel.075-604-3493 Fax.075-604-3698

お問い合わせ、お求めのご相談は下記までどうぞ。

◎当リーフレットに記載の情報は2017年1月時点のものです。
当リーフレットについては、無断で複製、転載することを禁じます。

© 2017 KYOCERA Corporation

ZLI037K0 LIE/37K1701S1GRAOK

<http://www.kyocera.co.jp/lithium/>